

大阪市の教育における現状について

調査の概要

(1) 調査の目的

○義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

○教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立し、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる

(2) 調査の対象学年 小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年、中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

(3) 調査の内容 ①教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)

・主として「知識」に関する問題【国語A、算数・数学A】

・主として「活用」に関する問題【国語B、算数・数学B】

・主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に出題【理科】

②生活習慣や学習環境に関する質問紙調査・児童生徒に対する調査、学校に対する調査

(4) 調査の方式 抽出調査及び希望利用方式(抽出調査の抽出率は約30%)

(5) 4月17日に抽出調査を実施した学校・児童生徒数【小学校】大阪府:135校10,331人(13.2%)【中学校】大阪府:142校21,581人(30.1%)

調査及び結果の特徴

◆小学校においては、概ね向上傾向が続いており、ほぼ全国平均に並んだ状況であるが、国語B区分において課題がみられる。中学校においては、H22年度に続いて向上傾向がみられ、全国平均との差はさらに縮小しつつあるものの、依然としてその差は大きい。新たに実施された理科においては、小中学校とも大きな課題がみられる。

◆平成24年度調査は抽出調査であるため、平均正答率の数値は、次の表に示す範囲で幅があることを踏まえ、成果、課題等を判断する必要がある。

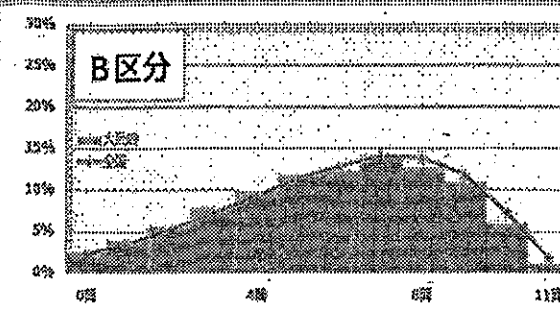
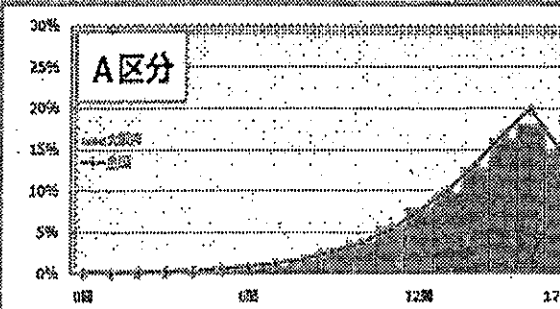
(%)	小国A	小国B	小算A	小算B	小理	中国A	中国B	中数A	中数B	中理
大阪府	79.8 - 81.3	52.5 - 54.4	73.3 - 75.1	57.3 - 59.5	58.9 - 58.8	72.5 - 73.7	58.4 - 59.7	59.4 - 61.0	45.0 - 46.9	47.1 - 48.5
全国	81.4 - 81.7	55.4 - 55.8	73.1 - 73.5	58.7 - 59.1	60.8 - 61.1	75.0 - 75.2	63.2 - 63.4	62.0 - 62.3	49.2 - 49.5	50.9 - 51.1

◆今年度、新たに実施した理科については、観察・実験の結果などを整理・分析した上で、解釈・考察し、説明することなどに課題が見られる。

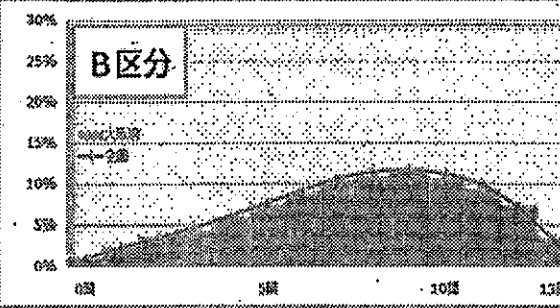
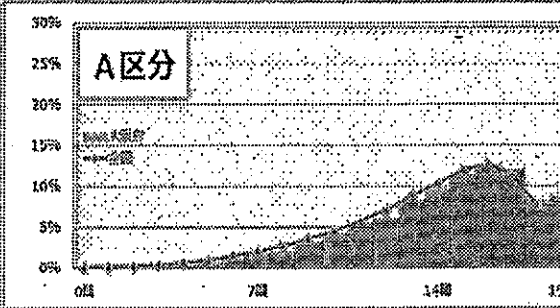
◆従来から実施している、国語、算数・数学における主な結果としては、記述式問題を中心に課題が見られる。

正答数分布 (横軸: 正答数・縦軸: 割合)

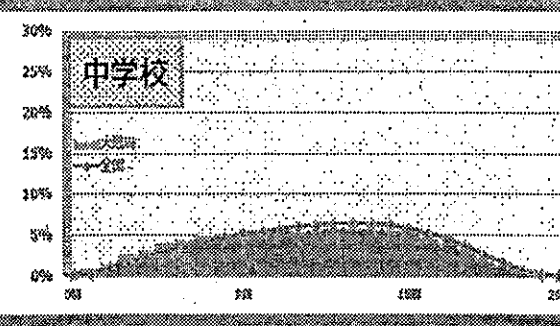
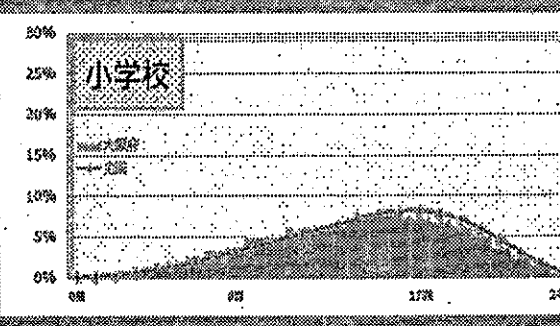
小学校国語



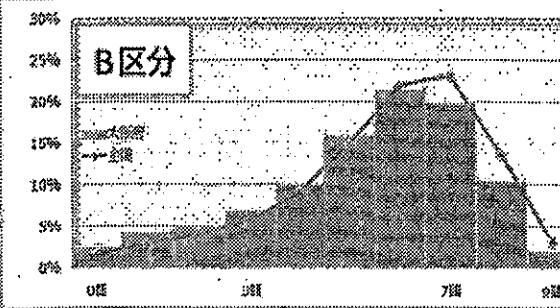
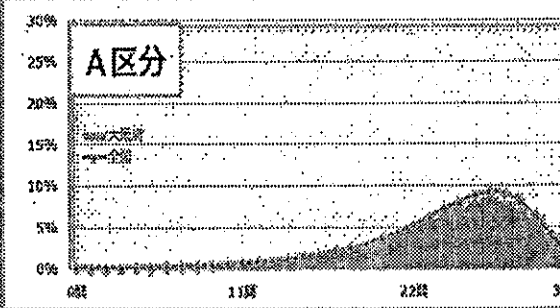
小学校算数



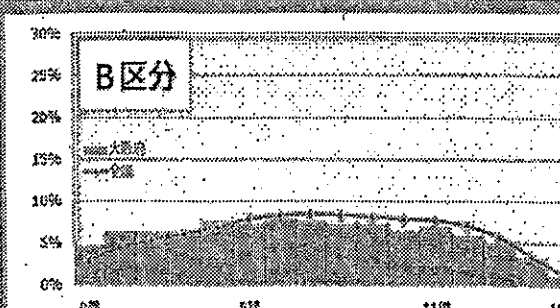
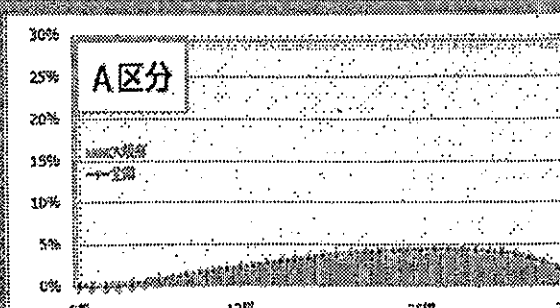
小・中学校理科



中学校国語



中学校数学



校種・教科・区別正答率/対全国比経年比較

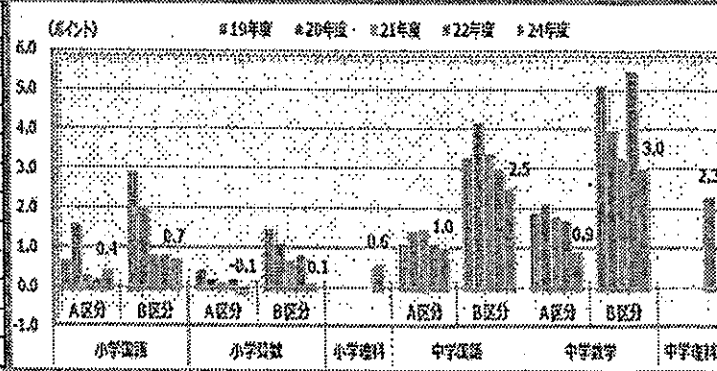
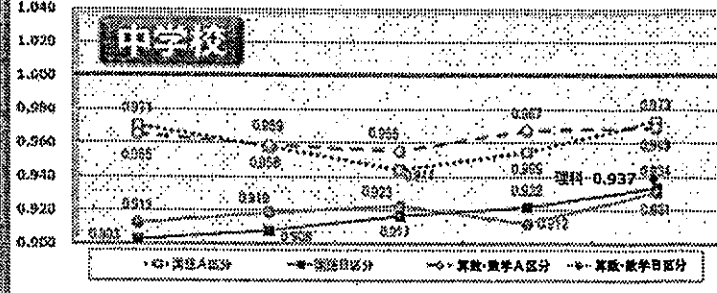
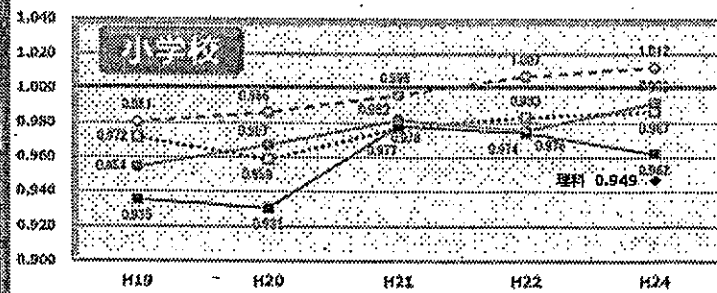
※大阪府平均正答率・全国平均正答率にて算出し、その増減について4年間の推移を比較したものである。

	区分	H19		H20		H21		H22		H24	
		大阪府	全国	大阪府	全国	大阪府	全国	大阪府	全国	大阪府	全国
小国	A区分	79.4	81.7	82.7	65.4	68.3	69.9	81.9	83.3	80.5	81.6
	B区分	58.0	62.0	47.0	50.5	49.4	50.5	75.8	77.8	53.5	55.6
小算	A区分	80.5	82.1	71.2	72.2	78.4	78.7	74.7	74.2	74.2	73.3
	B区分	60.7	63.6	49.9	51.6	53.8	54.8	48.1	49.3	58.4	58.9
小理										57.8	60.9
中数	A区分	79.2	81.6	70.5	73.6	72.7	77.0	71.7	75.1	73.1	75.1
	B区分	65.0	72.0	55.2	60.8	68.3	74.5	60.2	65.3	59.1	63.3
中理	A区分	69.4	71.9	60.5	63.1	59.9	62.7	62.5	64.6	60.2	62.1
	B区分	55.3	60.6	45.2	49.2	52.5	56.9	39.5	43.3	45.9	49.3

校種・教科・区別無解答率/対全国差経年比較

※大阪府平均無解答率・全国平均無解答率にて算出し、その増減について4年間の推移を比較したものである。

	区分	大阪府				全国				差(大阪府-全国)						
		H19	H20	H21	H22	H19	H20	H21	H22	H19	H20	H21	H22			
小国	A	2.7	12.5	10.2	2.8	3.4	2.0	10.9	9.9	2.6	3.0	0.7	1.6	0.3	0.2	0.4
	B	11.6	14.3	12.9	5.0	7.3	6.7	12.3	12.1	4.2	6.6	2.9	2.0	0.8	0.8	0.7
小算	A	1.5	3.2	2.2	2.8	2.2	1.1	3.0	2.1	2.4	2.3	0.4	0.2	0.1	0.2	-0.1
	B	7.4	7.1	6.9	7.0	4.7	5.9	6.0	6.2	6.2	4.6	1.5	1.1	0.7	0.8	0.1
小理	A	-	-	-	-	3.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-0.6
	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中数	A	4.6	5.2	4.8	3.8	4.5	3.5	3.8	3.3	2.7	3.5	1.1	1.4	1.5	1.1	1.0
	B	8.5	12.9	9.0	9.8	7.3	5.2	8.7	5.6	6.8	4.8	3.3	4.2	3.4	3.0	2.5
中理	A	6.0	8.7	6.9	8.0	3.6	4.1	6.6	5.1	6.3	2.7	1.9	2.1	1.8	1.7	0.9
	B	19.5	17.4	13.0	24.8	16.1	14.4	13.4	9.7	19.3	13.1	5.1	4.0	3.3	5.5	3.0
中理		-	-	-	-	11.7	-	-	-	9.4	-	-	-	-	-	2.3

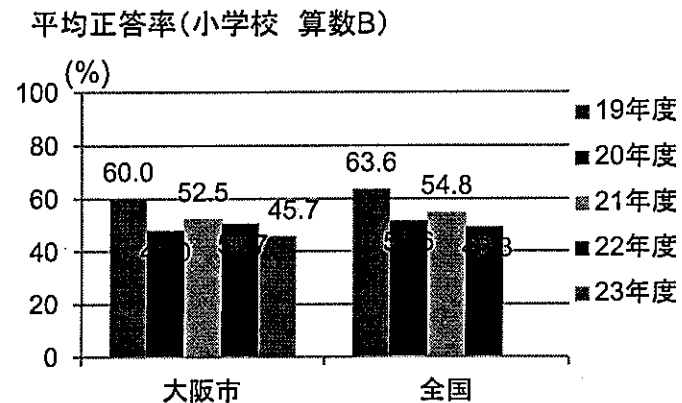
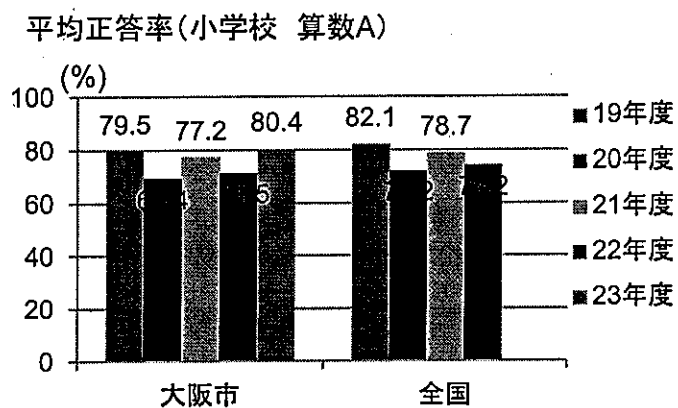
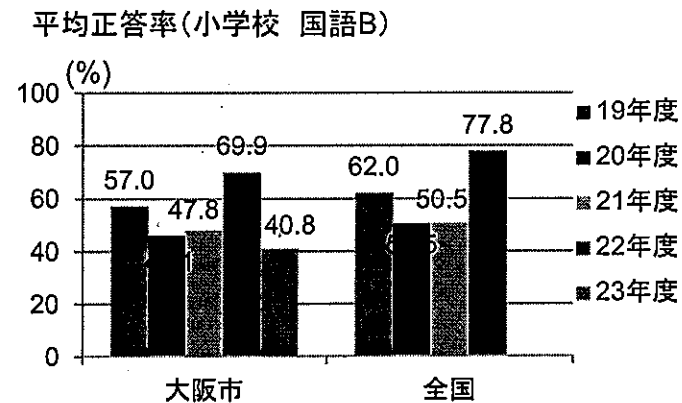
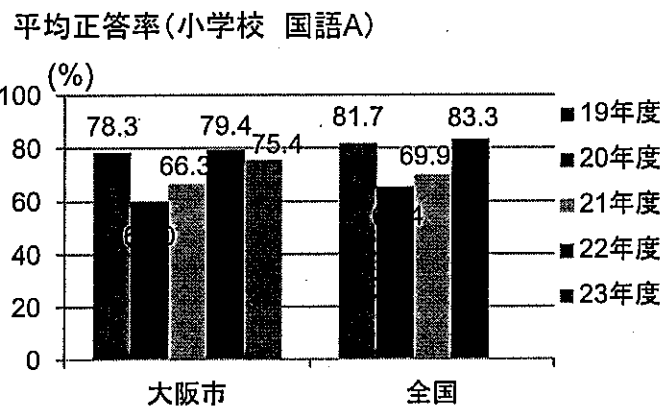


全国学力・学習状況調査結果(大阪市)1

全国学力・学習状況調査では、調査開始以来、全国平均との差がある。

○全国学力・学習状況調査・平均正答率(小学校)

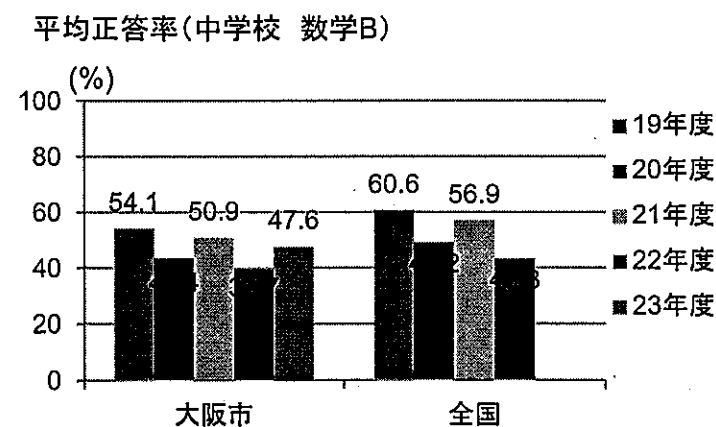
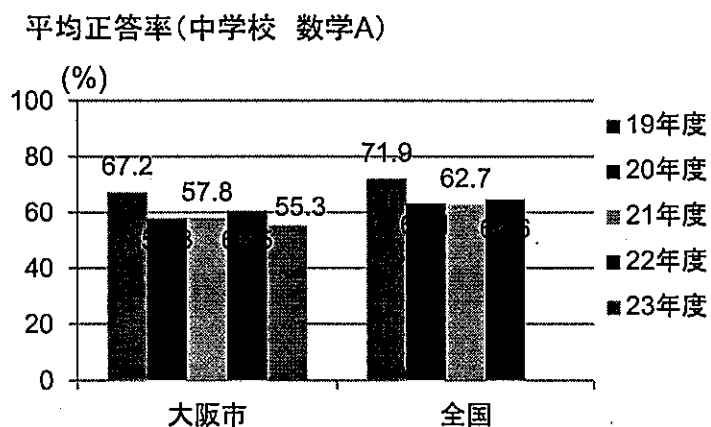
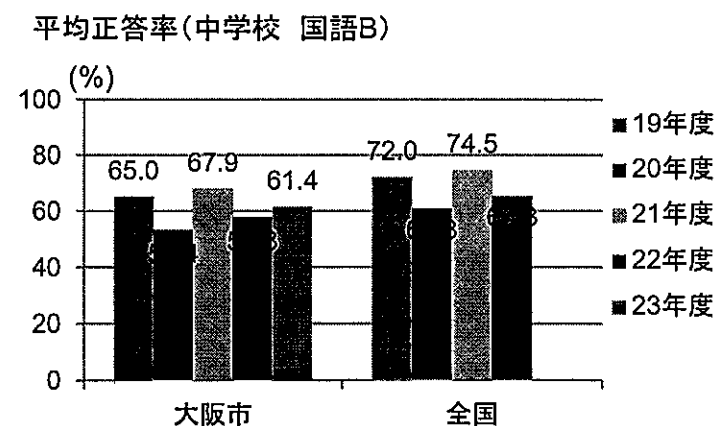
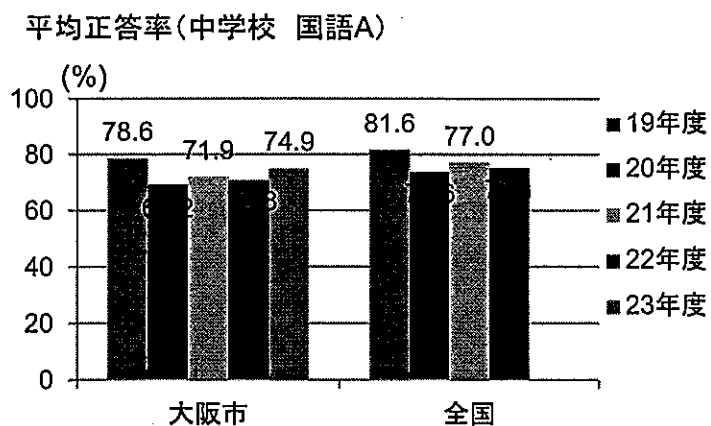
23年度は東日本大震災の発生を受け、「全国調査」の実施が見送られたが、本市では全国調査の問題等を活用し、悉皆調査を実施した。小学校では、国語・算数ともに、全国(公立)の平均正答率に近づいてきている。特に算数B「活用」においては、22年度には平均正答率が全国平均を上回った。一方、国語B「活用」での差が顕著である。



全国学力・学習状況調査結果(大阪市)2

○全国学力・学習状況調査・平均正答率(中学校)

中学校では、国語・数学とも、A「知識」に関する問題、B「活用」に関する問題において、全国に比べて、まだ差がある。特に、国語B「活用」での差が顕著である。

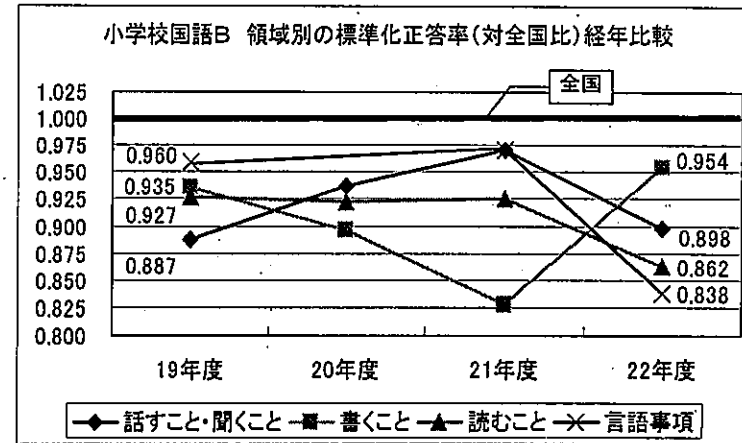
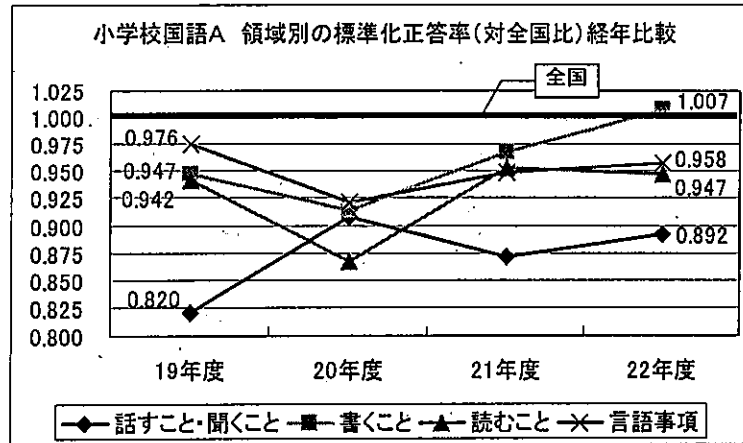


平成19～23年度全国学力・学習状況調査より

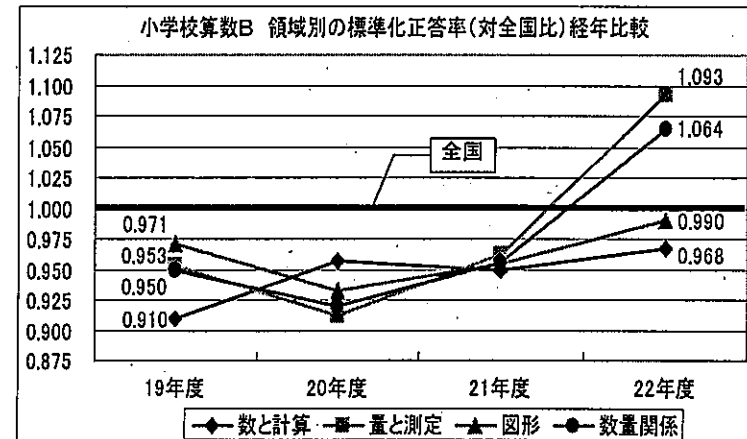
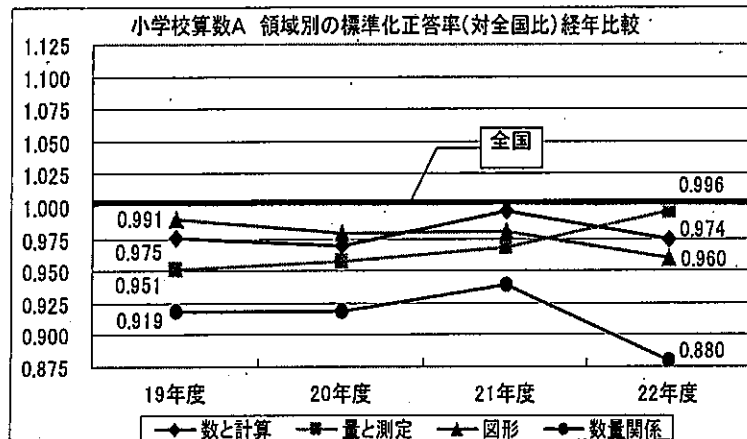
全国学力・学習状況調査結果(大阪市)3

・教科に関する調査結果(小学校)

国語A「知識」・B「活用」ともに、「書くこと」に向上が見られる。



算数A「知識」・B「活用」ともに、「量と測定」に向上が見られる。

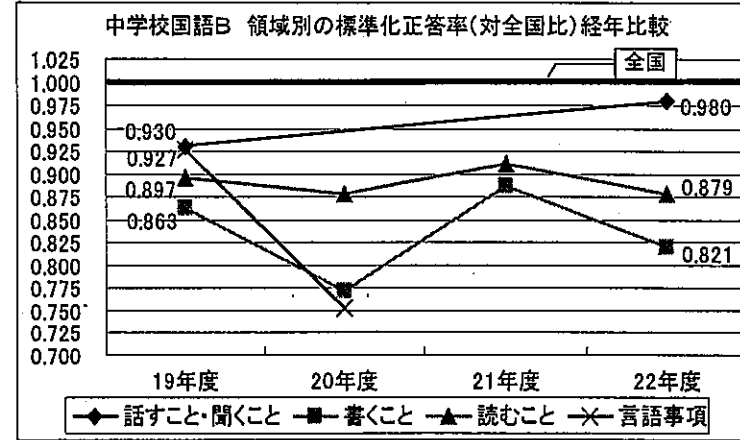
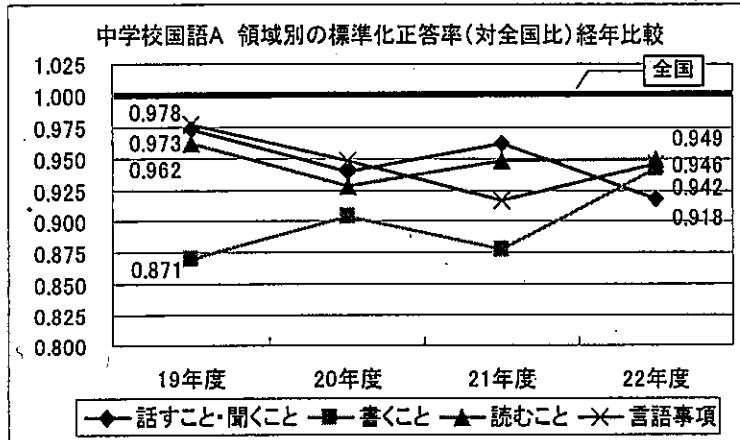


平成22年度全国学力・学習状況調査より

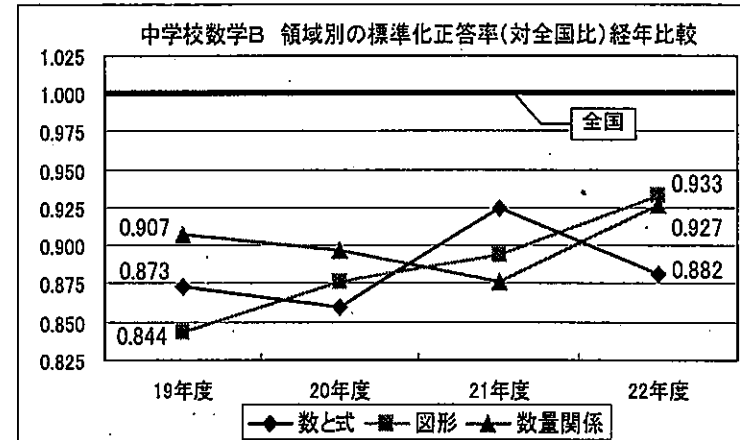
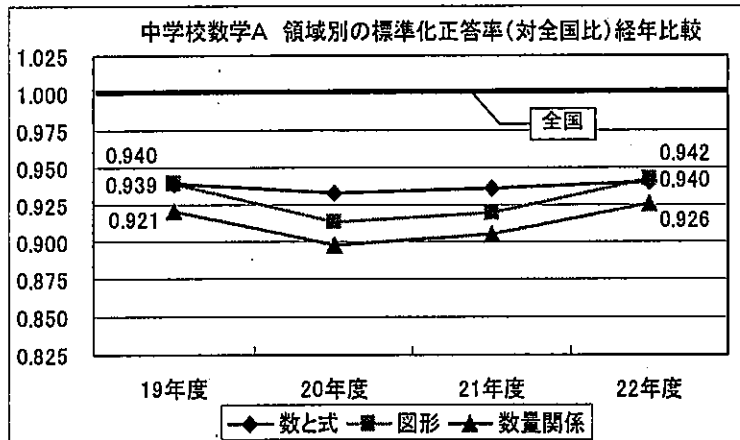
全国学力・学習状況調査結果(大阪市)4

・教科に関する調査結果(中学校)

国語A「知識」では、「話すこと・聞くこと」、国語B「活用」では、「書くこと」「読むこと」で全国との差が開いた。



数学A「知識」・B「活用」ともに、「図形」「数量関係」について、全国との差が縮まる傾向にある。

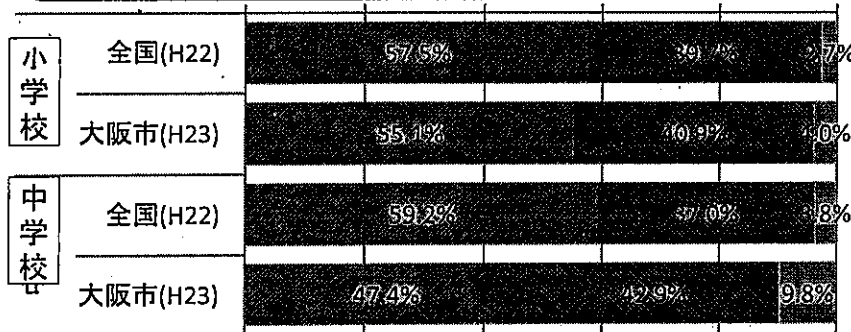


平成22年度全国学力・学習状況調査より

子どもたちの学習習慣・生活習慣(大阪市)

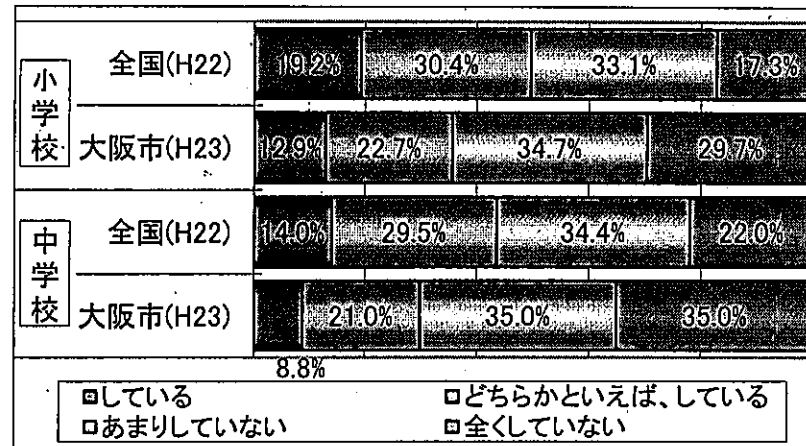
全国平均と比べ、学習規律や学習習慣、食習慣などの生活習慣が身に付いていない子どもが多い。

学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かった話をするなど)の維持を徹底していますか



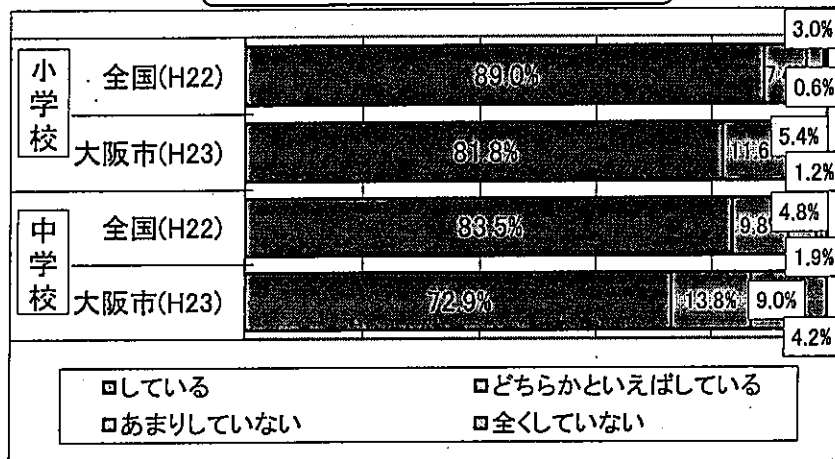
よく行った どちらかといえば、行った
 あまり行っていない 全く行っていない

家で学校の授業の復習をしていますか



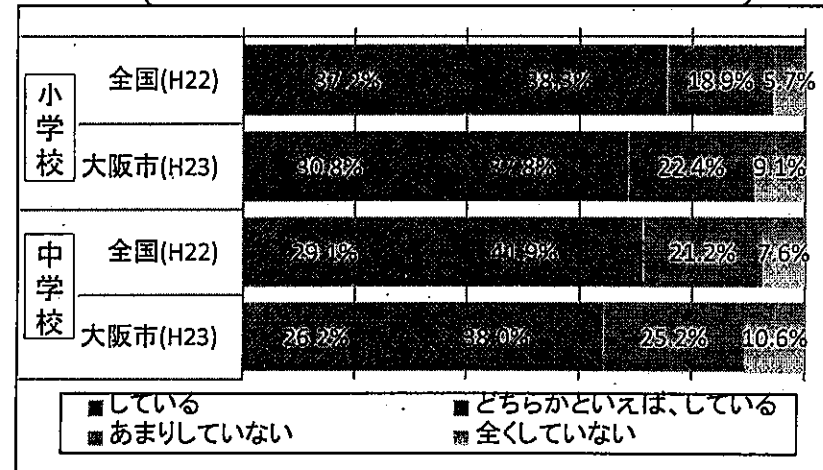
している どちらかといえば、している
 あまりしていない 全くしていない

朝食を毎日食べていますか



している どちらかといえばしている
 あまりしていない 全くしていない

毎日同じくらいの時刻に寝ていますか

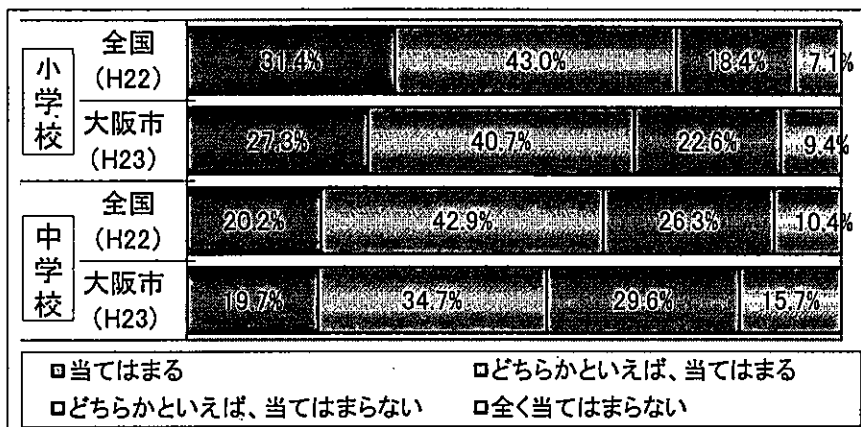


している どちらかといえば、している
 あまりしていない 全くしていない

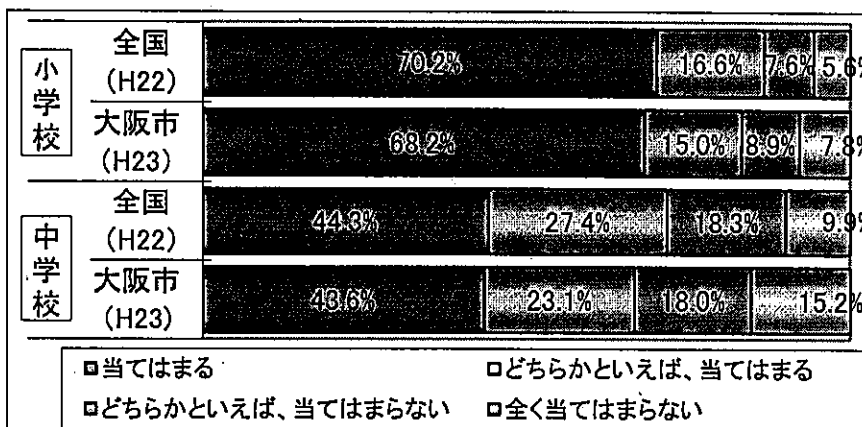
自己肯定感や規範意識(大阪市)

全国学力・学習状況調査では、自己肯定感や規範意識などの面において全国平均との差があり、その育成が必要である。

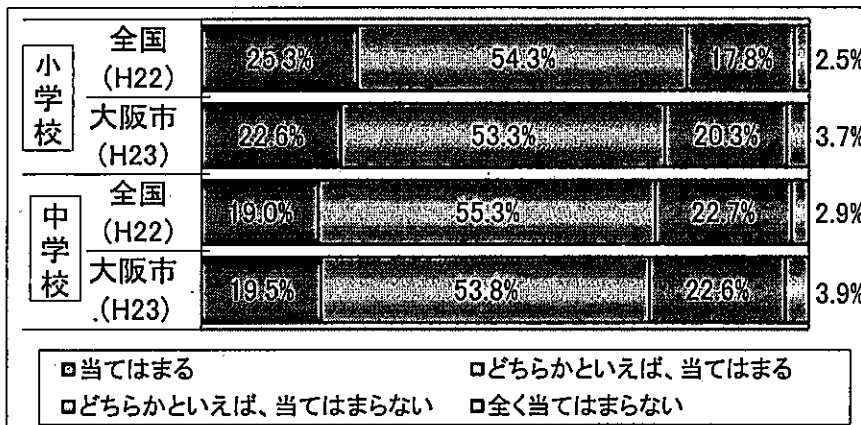
自分にはよいところがあると思いますか



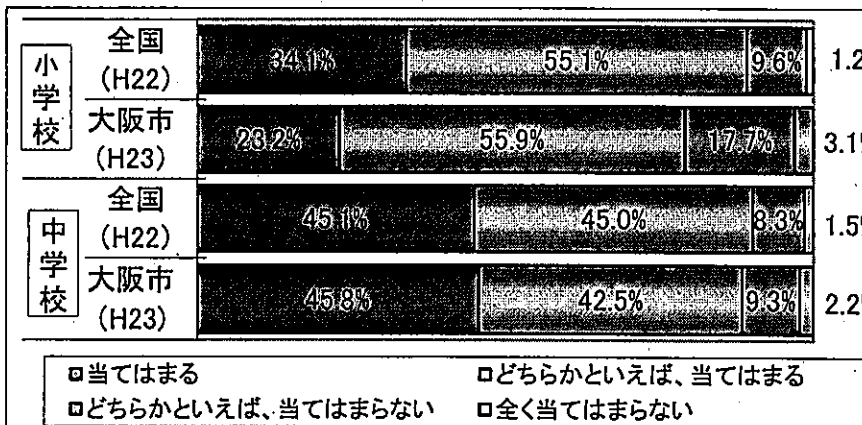
将来の夢や目標を持っていますか



人が困っているときに進んで助けますか



学校の規則(決まり)を守っていますか

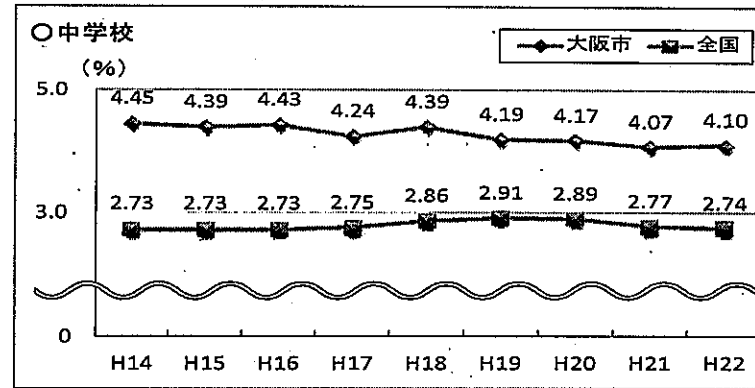
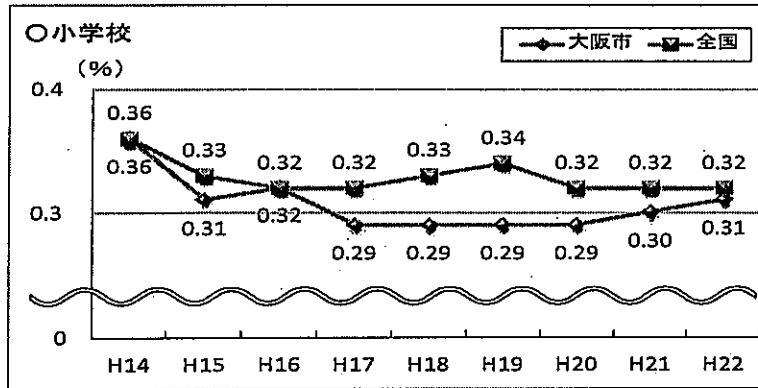


本市の数値は平成23年度全国学力・学習状況調査結果、全国の数値は平成22年度全国学力・学習状況調査結果

不登校・いじめ等の課題への対応(大阪市)1

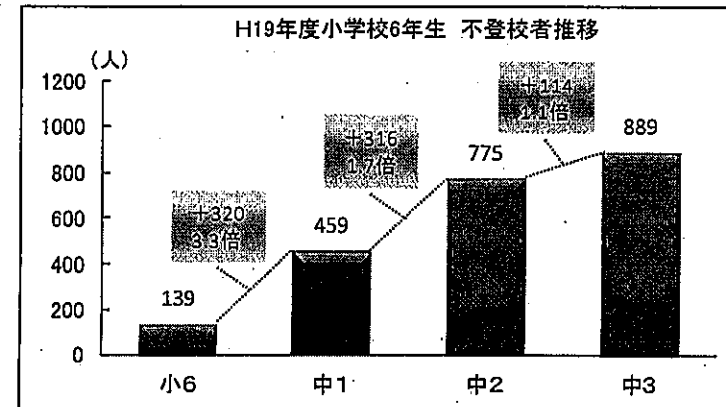
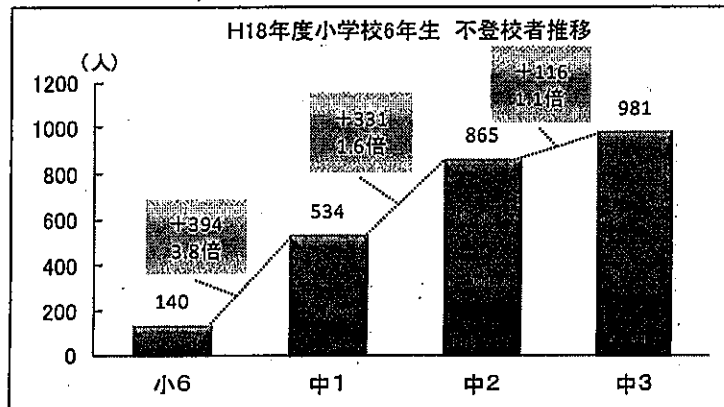
○大阪市と全国の不登校率比較

小学校の不登校率は全国平均並であるが、中学校の不登校率は全国平均の約1.5倍と高い。



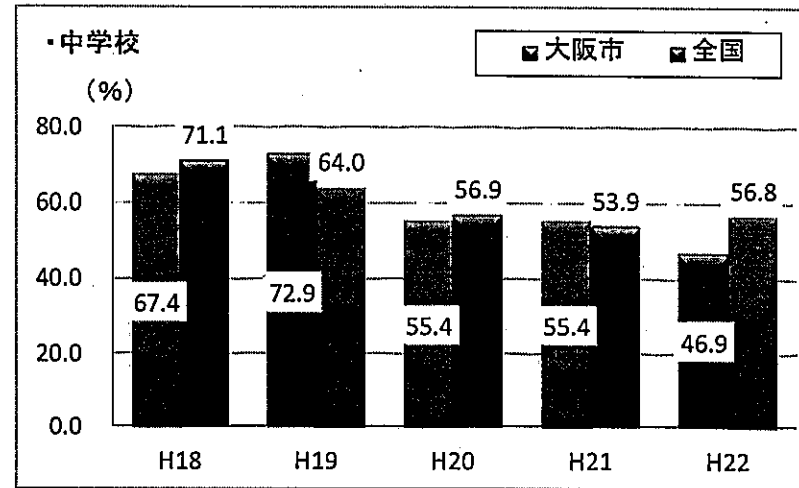
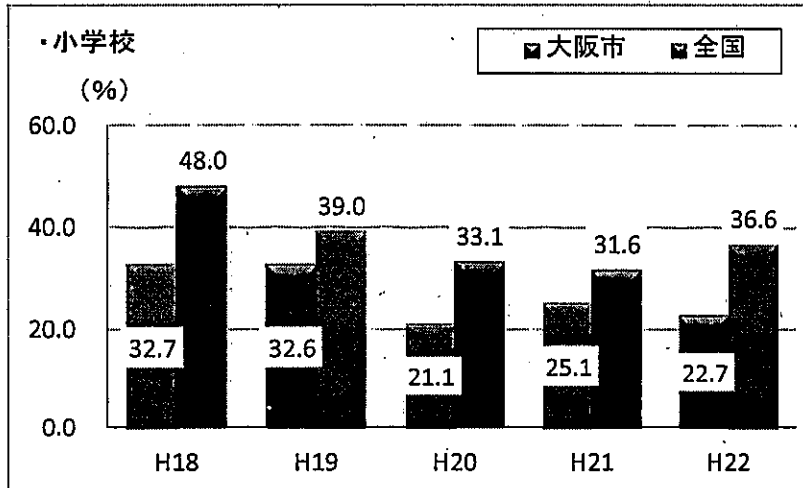
○不登校者数の推移

平成18・19年度に卒業した小学校6年生が、中学1年生、2年生、3年生時の不登校者数の推移。いずれの年度も小学校6年生時と中学1年生時を比べると、3倍以上になっている。

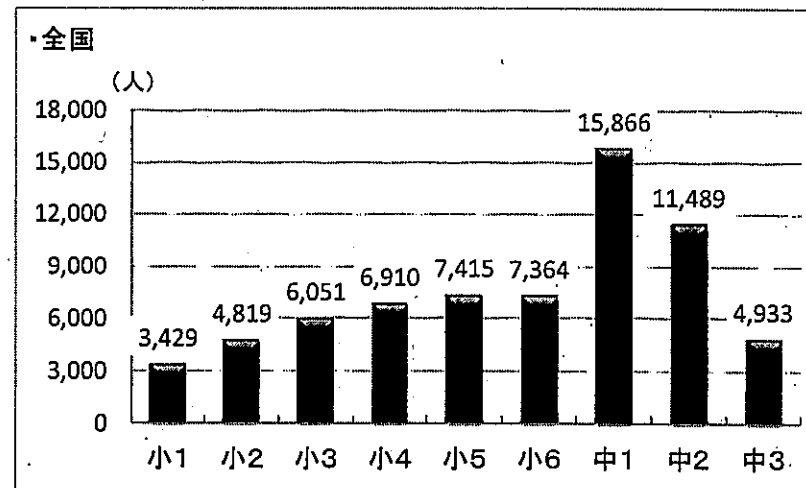
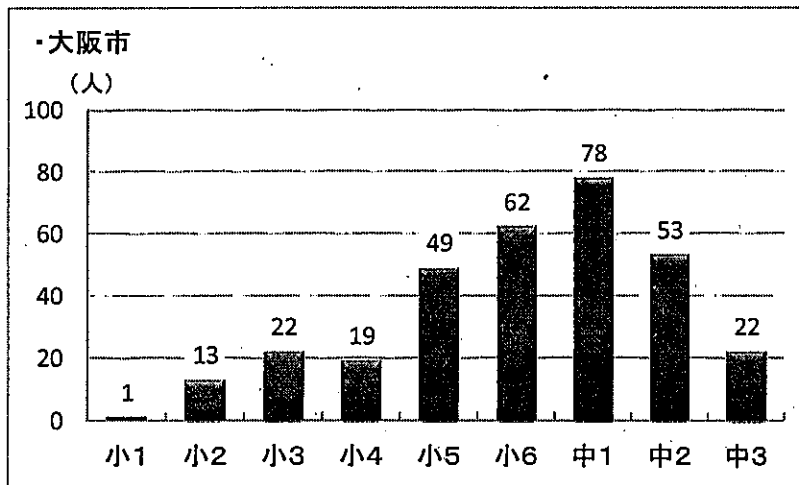


不登校・いじめ等の課題への対応(大阪市)2

○いじめの認知(発生)率



○いじめの認知件数(22年度 学年別)



文部科学省「平成22年度 児童生徒の問題行動等生活指導上の諸問題に関する調査」結果より